

1-3 日本全国の地殻変動 Crustal Deformations of Entire Japan

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

[GNSS]

第 1～7 図は、GEONET による GNSS 連続観測から求めた最近 3 か月間及び 1 年間の全国の水平地殻変動である。国土地理院では必要に応じてアンテナ交換等の保守を行っており、これに伴うオフセットの補正を後日 F5 解が得られてから行っている。基準期間と比較期間を含む期間中にアンテナ交換が行われ、それによるオフセットを補正した観測点の変動ベクトルは、補正誤差が含まれる可能性があるため、白抜き矢印で示し区別している。

[GNSS 3 か月]

第 1～3 図は、最近 3 か月間の水平変動ベクトル図である。

第 1 図の北海道・東北地方では、北海道の北東部に 2025 年 7 月 30 日に発生したカムチャツカ半島付近の地震に伴う地殻変動が見られる。また、2011 年 3 月 11 日に発生した平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震（M9.0, 最大震度 7）の余効変動の影響が見られる。道東地方では千島海溝沿いの太平洋プレートの沈み込みに伴う北西向きの変動が見られる。また、石川県から富山県にかけて 2024 年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震（M7.6, 最大震度 7）後の余効変動が見られる。

第 2 図の日本列島中央部では、能登半島及び富山県の沿岸部に令和 6 年能登半島地震後の余効変動が見られる。また、平成 23 年東北地方太平洋沖地震後の余効変動の影響が東北地方で見られる。紀伊半島から四国にかけては南海トラフ沿いのプレートの沈み込みに伴う北西向きの変動が見られる。そのほか、小笠原村の硫黄島（いおうとう）で火山性の地殻変動が見られる。

第 3 図の日本列島西部の図では、中国・四国地方の西部から九州地方にかけて、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う変動が見られるほか、2024 年 8 月 8 日及び 2025 年 1 月 13 日に発生した日向灘の地震後の余効変動が見られる。また、トカラ列島近海の地震活動に伴う地殻変動が見られる。

[GNSS 差の差 3 か月]

第 4～6 図は、最近 3 か月間の水平方向の地殻変動について、年周変化やプレート運動等の定常的な変動の影響を取り去った変動を見るため、1 年前の同時期の水平変動ベクトルに対する差を示す図である。これらの図においては、前の期間に生じた地殻変動は、逆向きに表示される。また、最近の 3 か月間又は 1 年前の同時期にアンテナ交換等の保守を行った観測点の変動ベクトルは、白抜き矢印で示している。

第 4 図の北海道・東北地方の図では、2025 年 7 月 30 日に発生したカムチャツカ半島付近の地震に伴う地殻変動が見られる。また、令和 6 年能登半島地震に伴う地殻変動後の余効変動が見られる。

第 5 図の日本列島中央部の図では、令和 6 年能登半島地震後の余効変動が見られるほか、静岡県西部から愛知県東部では、長期的ゆっくりすべりに伴う地殻変動が見られる。また、小笠原村の硫

黄島で島内の火山性の地殻変動速度が変化した影響が見られる。

第 6 図の日本列島西部の図では、2024 年 8 月 8 日の日向灘の地震に伴う地殻変動の影響が見られるほか、2025 年 1 月 13 日に発生した日向灘の地震後の余効変動が見られる。また、山口県北部の地震活動に伴う地殻変動、トカラ列島近海の地震活動に伴う地殻変動が見られる。

[GNSS 1 年間]

第 7 図の最近 1 年間の全国の図においては、令和 6 年能登半島地震後の余効変動のほか、平成 23 年東北地方太平洋沖地震の余効変動が顕著である。そのほか、道東地方では千島海溝沿いの太平洋プレートの沈み込みに伴う北西向きの変動、東海地方から九州にかけて、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う北西向きの変動が見られる。九州では、2024 年 8 月 8 日に発生した日向灘の地震後の余効変動のほか、2025 年 1 月 13 日に発生した日向灘の地震、2025 年 4 月 2 日に発生した大隅半島東方沖の地震に伴う地殻変動が見られる。そのほか、小笠原村の硫黄島では、火山性の地殻変動が見られる。また、山口県北部の地震活動に伴う地殻変動やトカラ列島近海の地震活動に伴う地殻変動が見られる。

[GNSS ひずみ変化]

第 8 図は、GNSS データから推定した日本列島の最近 1 年間のひずみ変化を示す図である。能登半島を中心に令和 6 年能登半島地震後の余効変動の影響によるひずみが見られる。そのほか、北海道南部から東北地方にかけて、平成 23 年東北地方太平洋沖地震後の余効変動の影響によるひずみ、九州では 2024 年 8 月 8 日に発生した日向灘の地震後の余効変動や 2025 年 1 月 13 日に発生した日向灘の地震、2025 年 4 月 2 日に発生した大隅半島東方沖の地震の影響によるひずみが見られる。また、山口県北部の地震活動に伴う地殻変動やトカラ列島近海の地震活動に伴うひずみが見られる。

第 9 図は、第 8 図の図との比較のために、地震や余効変動の影響が少なかった 1998 年 3 月からの 1 年間のひずみ変化を、定常時のひずみ変化とみなして示したものである。定常時における東日本のひずみは概ね東西方向の縮みとなっている。

[験潮]

第 10～23 図は、毎年 1 回報告している、加藤&津村 (1979) の方法による全国の験潮場における上下変動である。最新のデータは 2024 年 12 月である。

第 10～11 図は、北海道から津軽海峡にかけての験潮場のデータである。特段の傾向の変化は見られない。

第 12～13 図は本州の日本海側の験潮場のデータである。特段の傾向の変化は見られない。

第 14～15 図は、東北地方から房総半島にかけての海域の験潮場のデータである。特段の傾向の変化は見られない。

第 16～17 図は、関東から伊豆半島にかけての海域に属する験潮場のデータである。特段の傾向の変化は見られない。

第 18～19 図は、東海地方から紀伊半島にかけての験潮場のデータである。特段の傾向の変化は見られない。

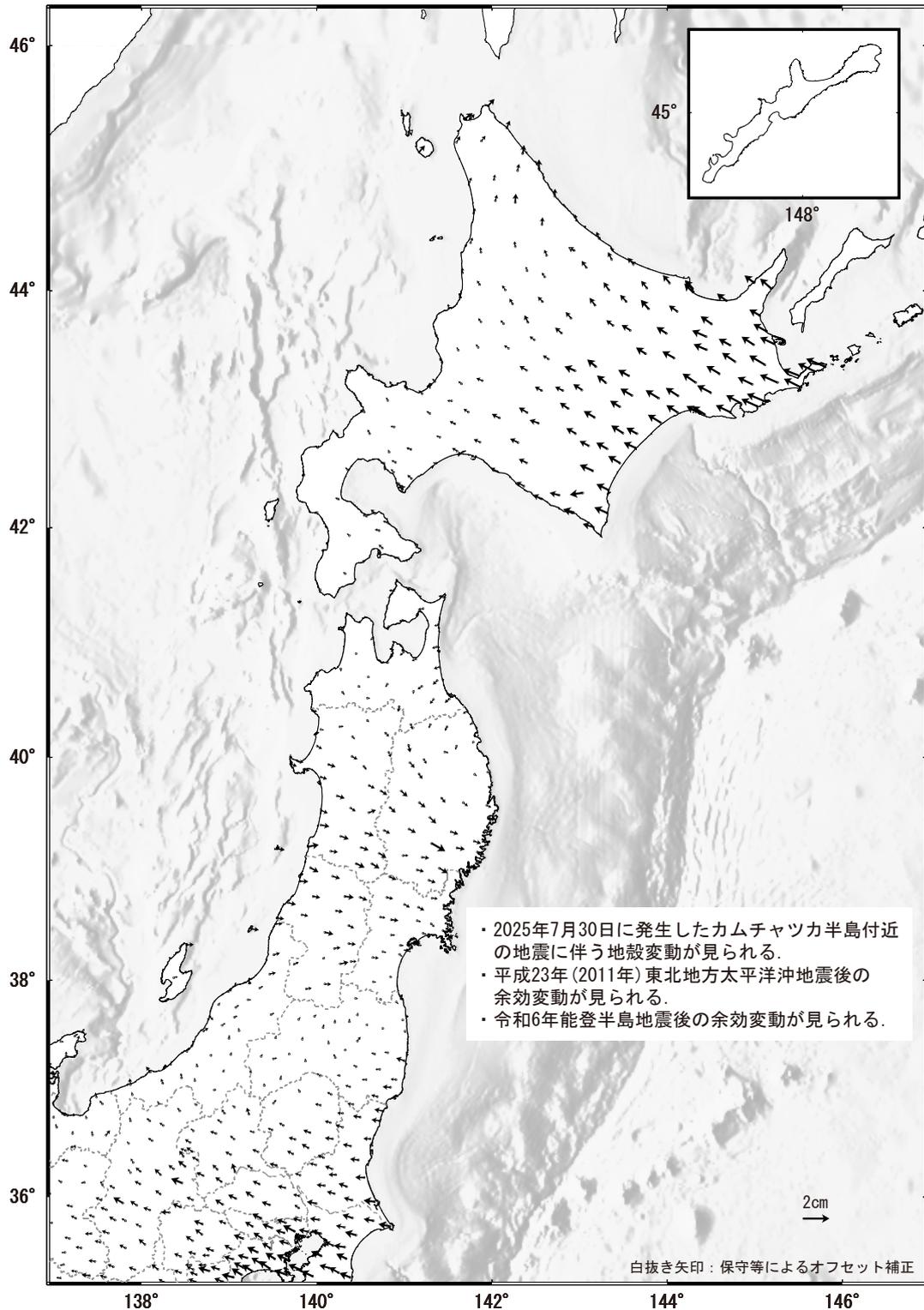
第 20～21 図は、中国・四国地方から九州地方にかけての験潮場のデータである。特段の傾向の変化は見られない。

第 22～23 図は、九州地方の験潮場のデータである。特段の傾向の変化は見られない。

全国の地殻変動（水平） 3 か月（1）

基準期間：2025-06-27 -- 2025-07-11 [F 5：最終解]

比較期間：2025-09-27 -- 2025-10-11 [F 5：最終解]

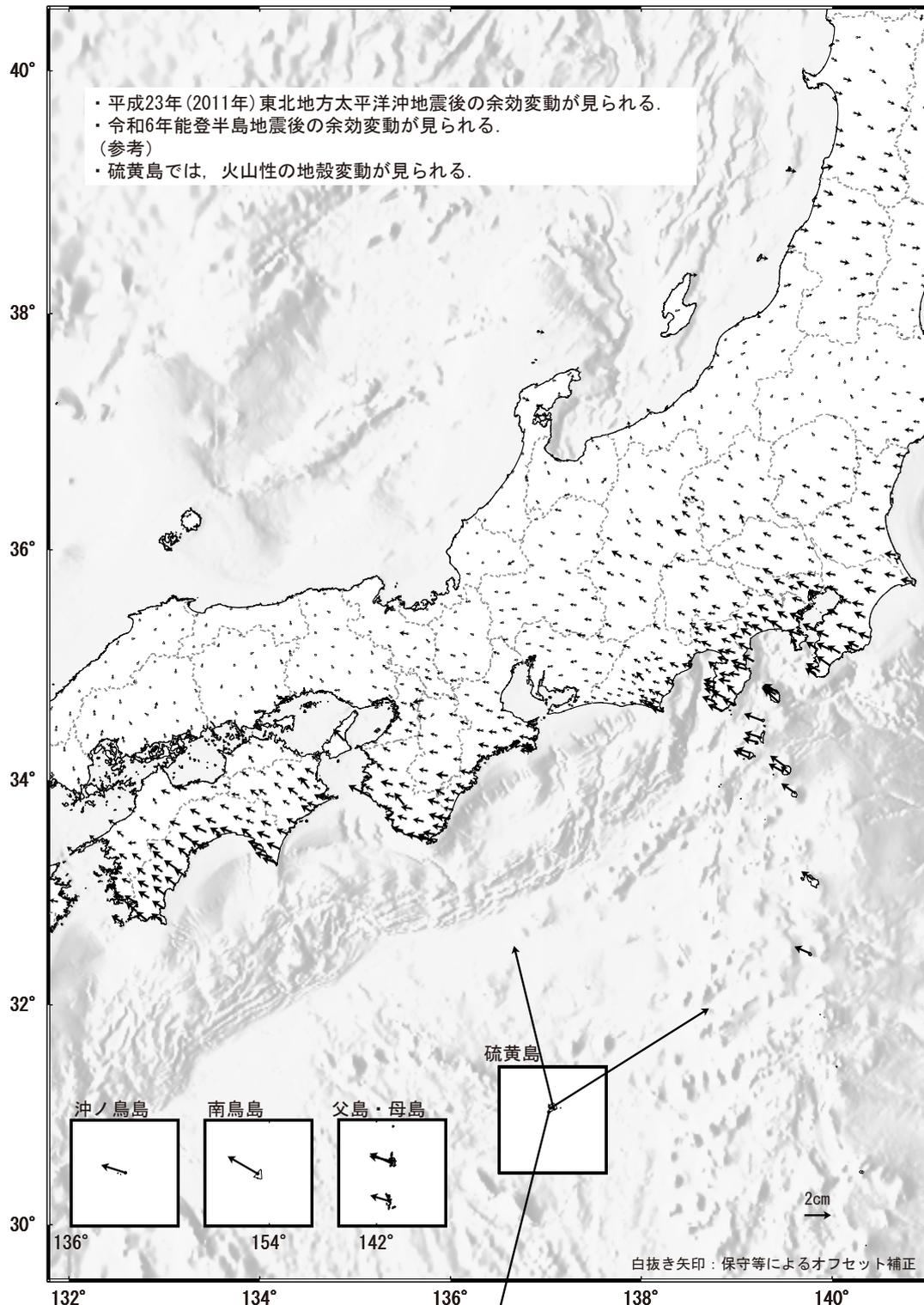


☆ 固定局：福江（長崎県）・海底地形データはETOPO1 (Amante, C. & B. W. Eakins, 2009) を使用した。
※ 「M 珠洲笹波」は、2025年8月の大雨等に伴う局所的な変動があった可能性がある。

第 1 図 GNSS 連続観測データから求めた 2025 年 7 月～2025 年 10 月の水平変動。
Fig. 1 Horizontal displacements at GNSS sites during July 2025 – October 2025. (☆ , Reference station is Fukue)

全国の地殻変動（水平） 3 か月（2）

基準期間：2025-06-27 -- 2025-07-11 [F5：最終解]
 比較期間：2025-09-27 -- 2025-10-11 [F5：最終解]



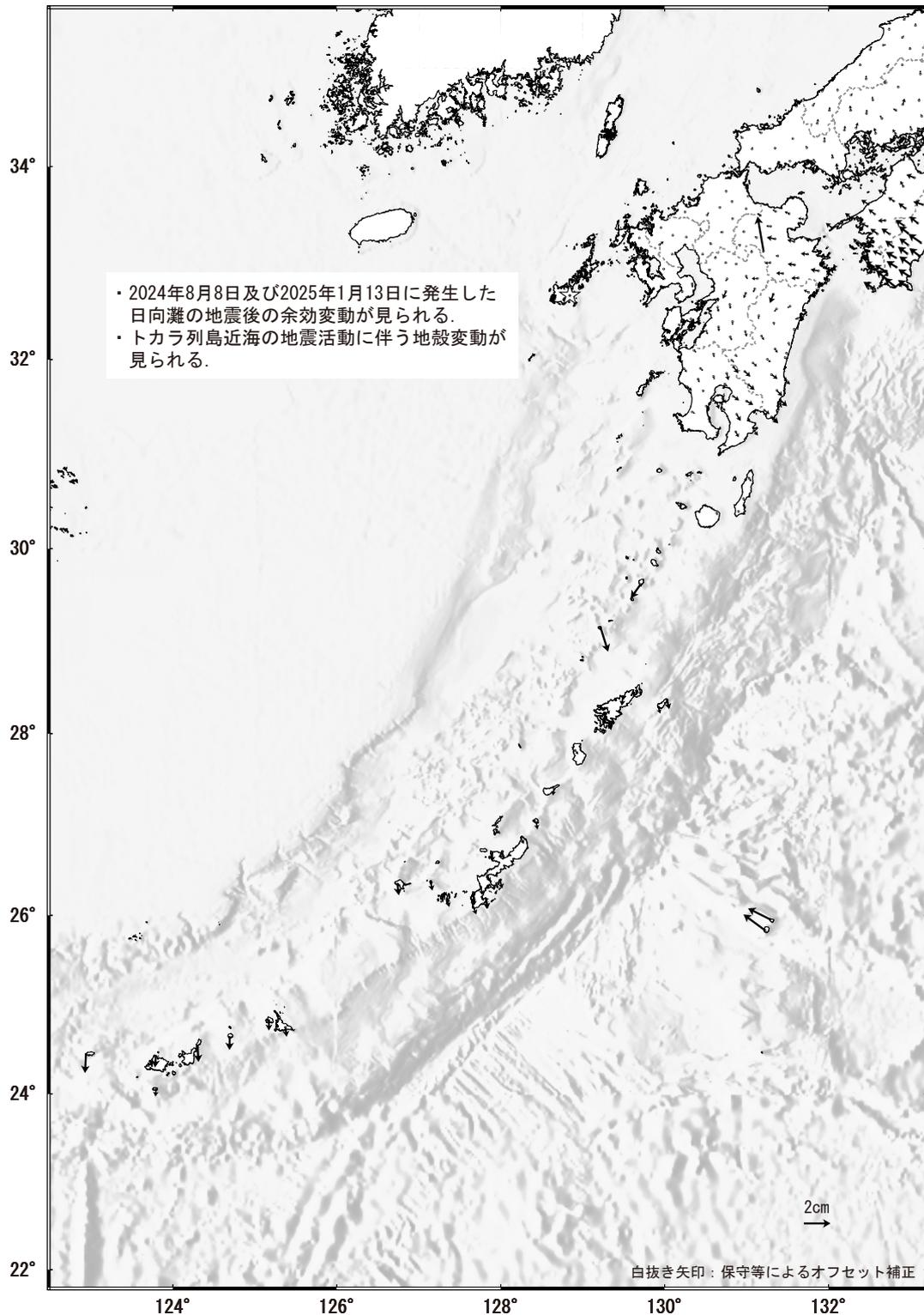
☆ 固定局：福江（長崎県）・海底地形データはETOPO1 (Amante, C. & B. W. Eakins, 2009) を使用した。
 ※ 「M珠洲笹波」は、2025年8月の大雨等に伴う局所的な変動があった可能性がある。

第 2 図 GNSS 連続観測データから求めた 2025 年 7 月～2025 年 10 月の水平変動（つづき）
 Fig. 2 Horizontal displacements at GNSS sites during July 2025 – October 2025 (continued).

全国の地殻変動（水平） 3 か月（3）

基準期間：2025-06-27 -- 2025-07-11 [F5：最終解]

比較期間：2025-09-27 -- 2025-10-11 [F5：最終解]



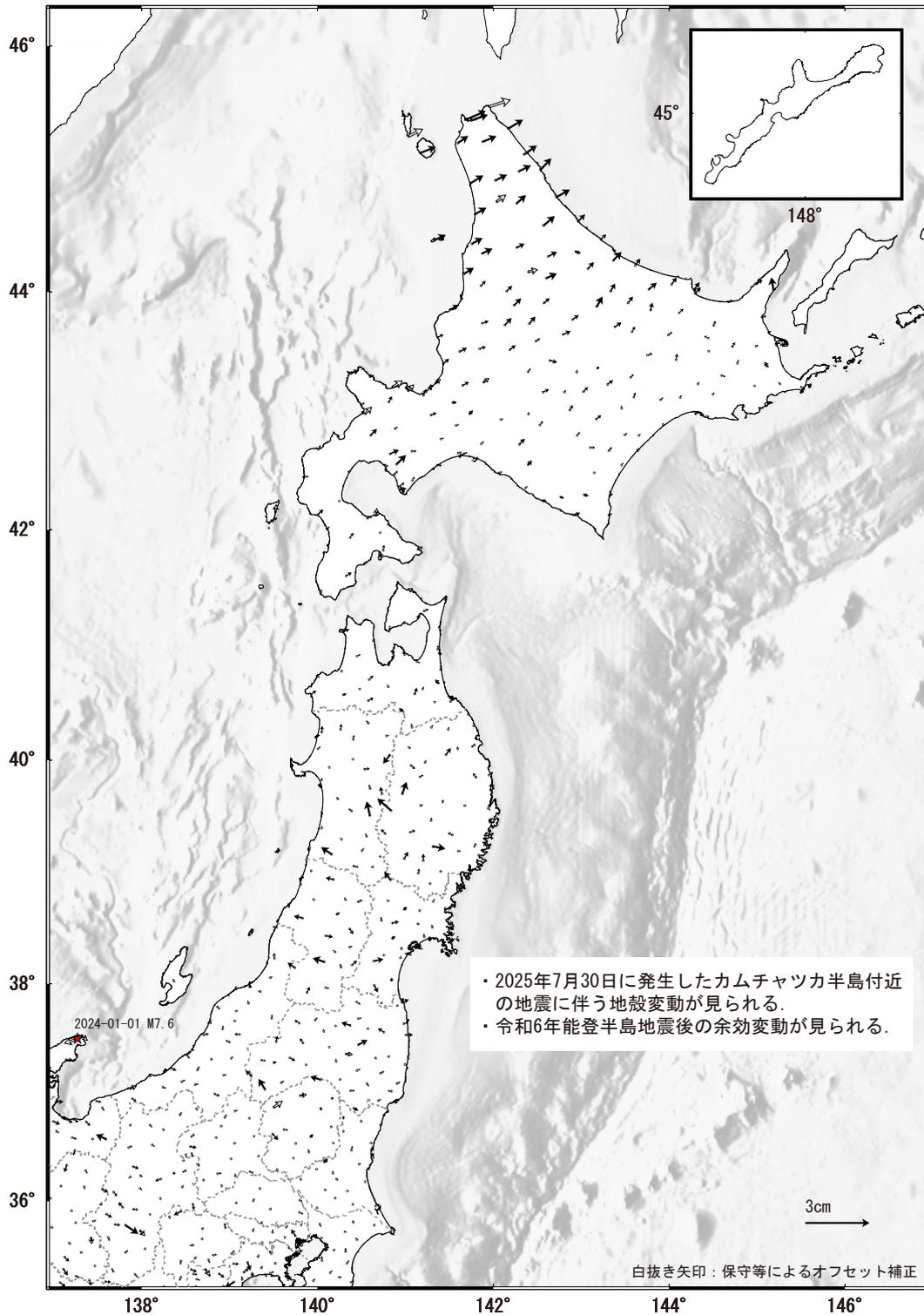
☆ 固定局：福江（長崎県）・海底地形データはETOPO1 (Amante, C. & B. W. Eakins, 2009) を使用した。
 ※ 「大分九重」は、2025年8月7日に発生した大分県西部の地震に伴い局所的な変動があった可能性がある。

第 3 図 GNSS 連続観測データから求めた 2025 年 7 月～ 2025 年 10 月の水平変動（つづき）

Fig. 3 Horizontal displacements at GNSS sites during July 2025 – October 2025 (continued).

2 期間の地殻変動ベクトルの差 3 か月 (1)

基準期間 : 2024-06-27 -- 2024-07-11 [F5 : 最終解] 基準期間 : 2025-06-27 -- 2025-07-11 [F5 : 最終解]
 比較期間 : 2024-09-27 -- 2024-10-11 [F5 : 最終解] 比較期間 : 2025-09-27 -- 2025-10-11 [F5 : 最終解]



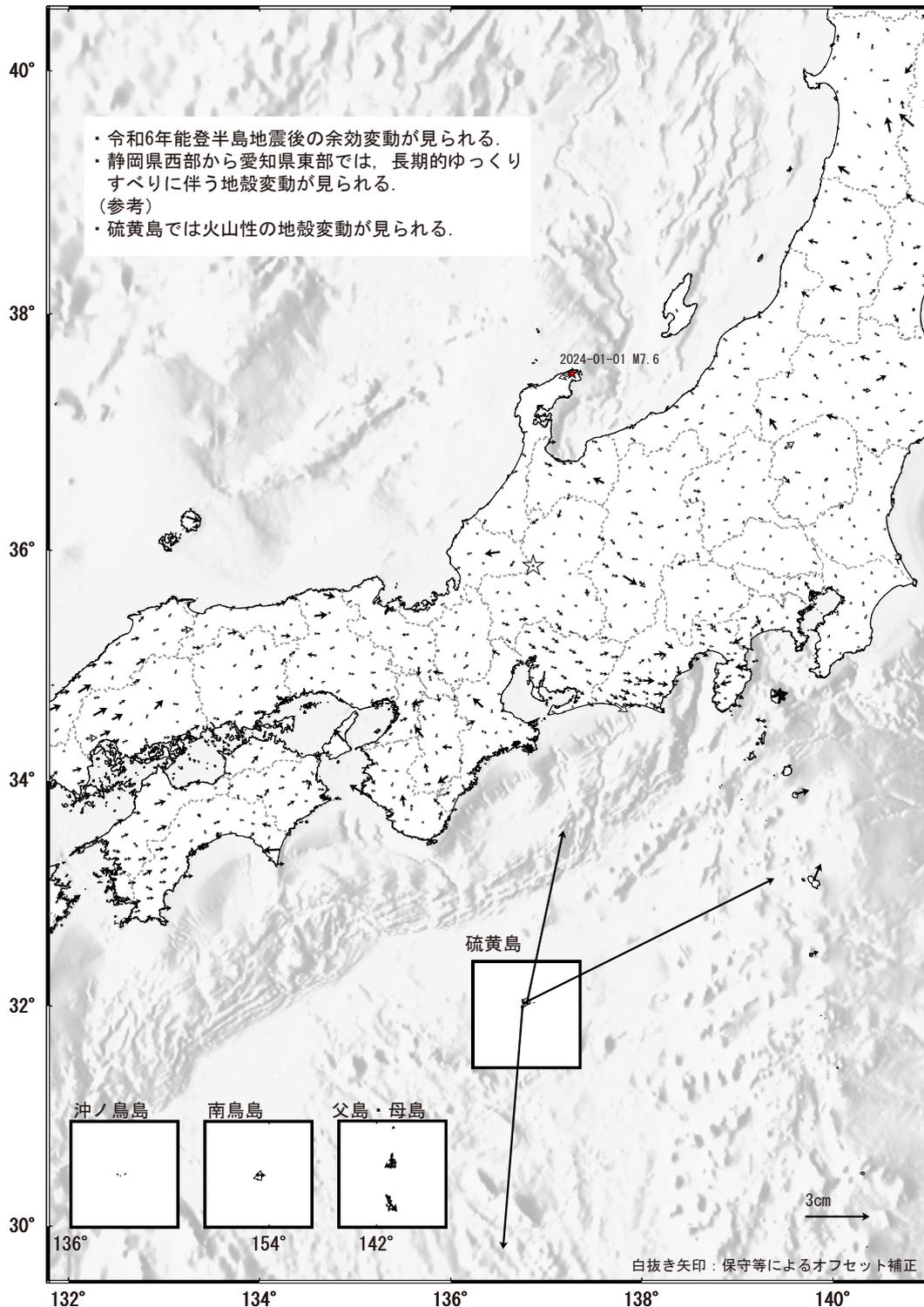
☆ 固定局 : 白鳥 (岐阜県) ・海底地形データはETOPO1 (Amante, C. & B. W. Eakins, 2009) を使用した。
 ※ 「M珠洲笹波」は、2025年8月の大雨等に伴う局所的な変動があった可能性がある。

第 4 図 GNSS 連続観測データから求めた 2 期間の水平変動の差 (3 か月間)

Fig. 4 Differences of horizontal displacements at GNSS sites between July 2024 – October 2024 and July 2025 – October 2025.

2 期間の地殻変動ベクトルの差 3 か月 (2)

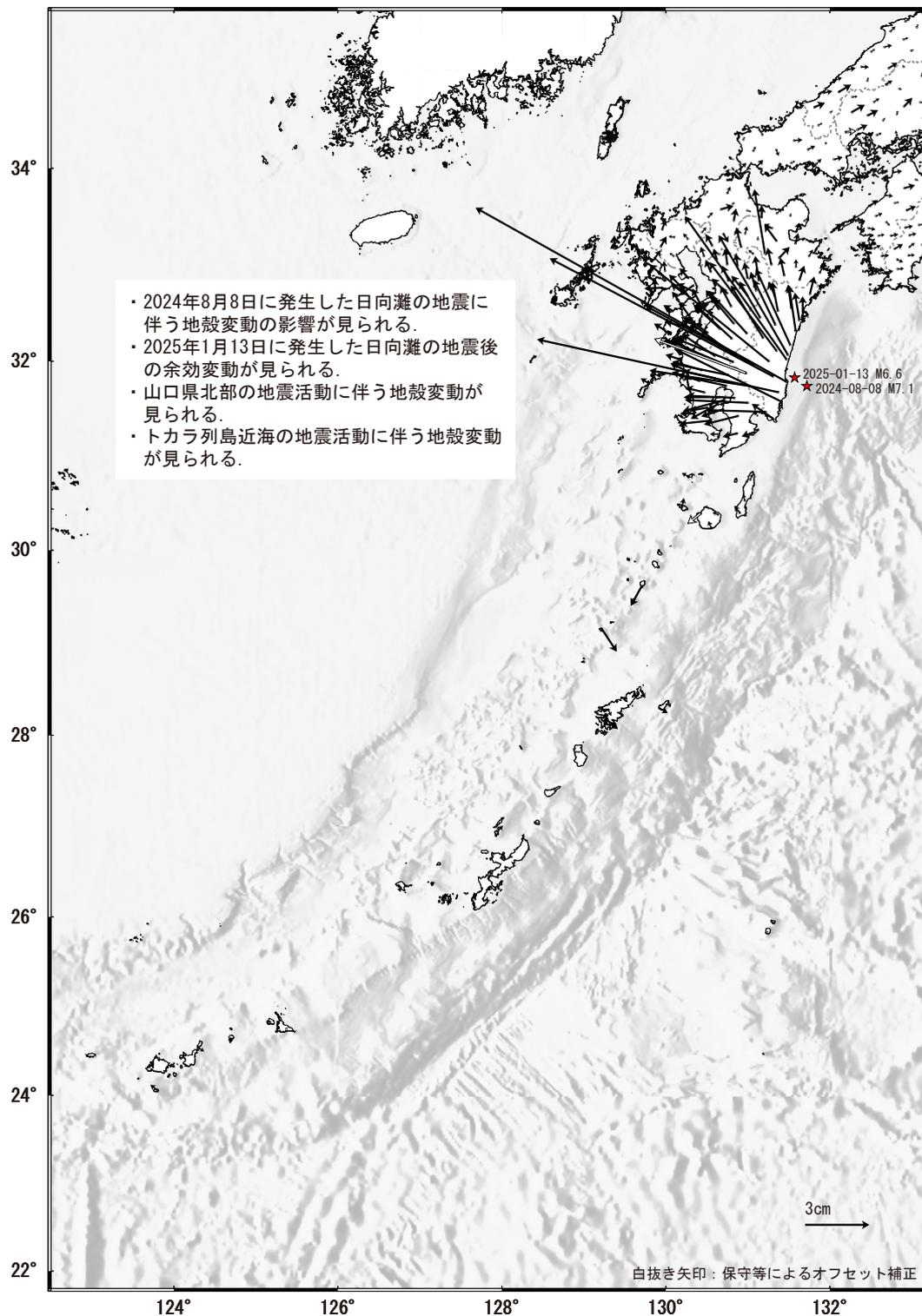
基準期間 : 2024-06-27 -- 2024-07-11 [F5 : 最終解] 基準期間 : 2025-06-27 -- 2025-07-11 [F5 : 最終解]
 比較期間 : 2024-09-27 -- 2024-10-11 [F5 : 最終解] 比較期間 : 2025-09-27 -- 2025-10-11 [F5 : 最終解]



第 5 図 GNSS 連続観測データから求めた 2 期間の水平変動の差 (3 か月間) (つづき)
 Fig. 5 Differences of horizontal displacements at GNSS sites between July 2024 – October 2024 and July 2025 – October 2025 (continued).

2 期間の地殻変動ベクトルの差 3 か月 (3)

基準期間 : 2024-06-27 -- 2024-07-11 [F5 : 最終解] 基準期間 : 2025-06-27 -- 2025-07-11 [F5 : 最終解]
 比較期間 : 2024-09-27 -- 2024-10-11 [F5 : 最終解] 比較期間 : 2025-09-27 -- 2025-10-11 [F5 : 最終解]



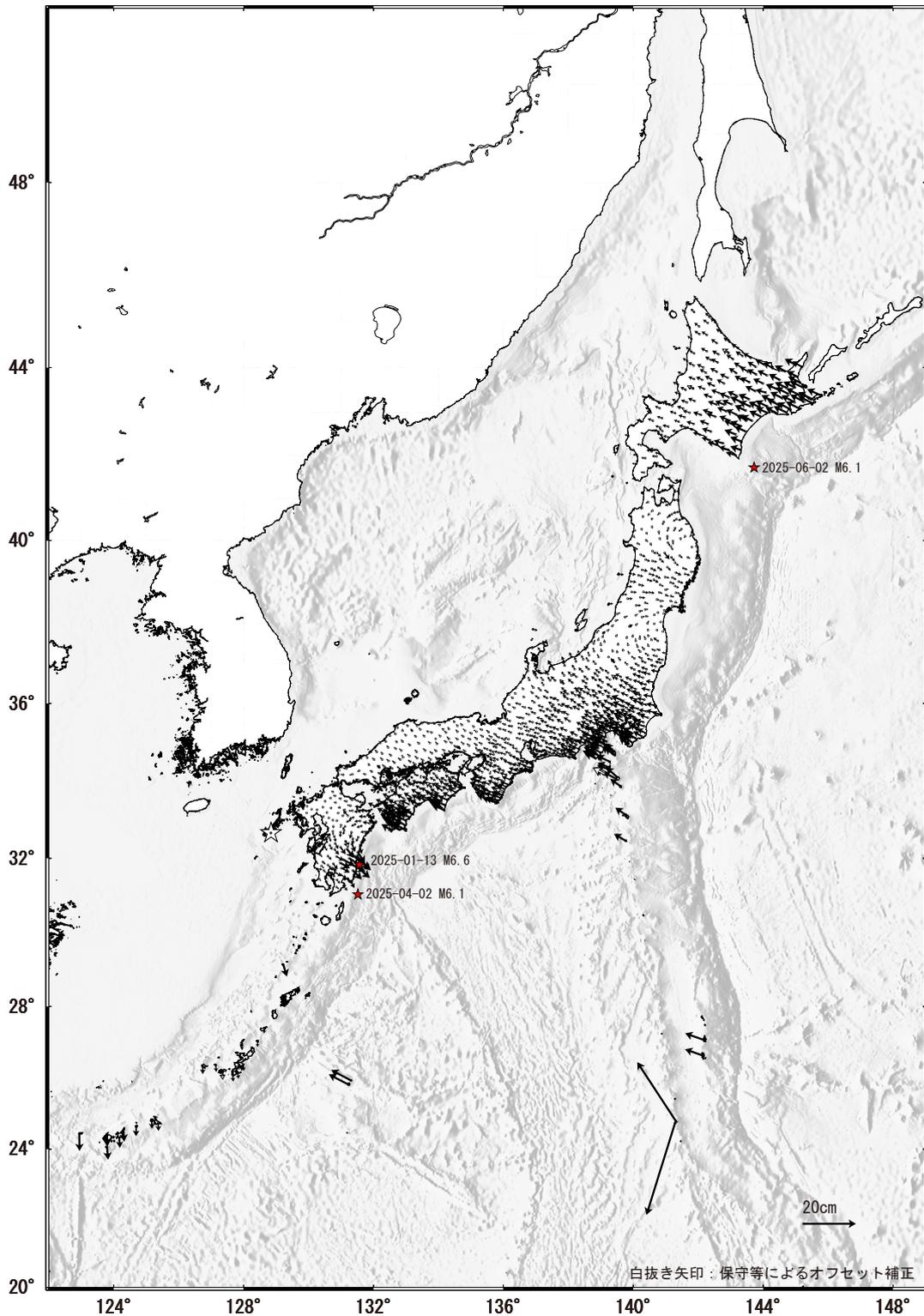
☆ 固定局: 白鳥 (岐阜県)・海底地形データはETOP01 (Amante, C. & B. W. Eakins, 2009) を使用した。
 ※ 「大分九重」は、2025年8月7日に発生した大分県西部の地震に伴い局所的な変動があった可能性がある。

第 6 図 GNSS 連続観測データから求めた 2 期間の水平変動の差 (3 か月間) (つづき)
 Fig. 6 Differences of horizontal displacements at GNSS sites between July 2024 – October 2024 and July 2025 – October 2025 (continued).

全国の地殻変動(水平) 1年間

基準期間 : 2024-09-27 -- 2024-10-11 [F 5 : 最終解]

比較期間 : 2025-09-27 -- 2025-10-11 [F 5 : 最終解]



☆ 固定局 : 福江 (長崎県) ・ 海底地形データはETOPO1 (Amante, C. & B. W. Eakins, 2009) を使用した。

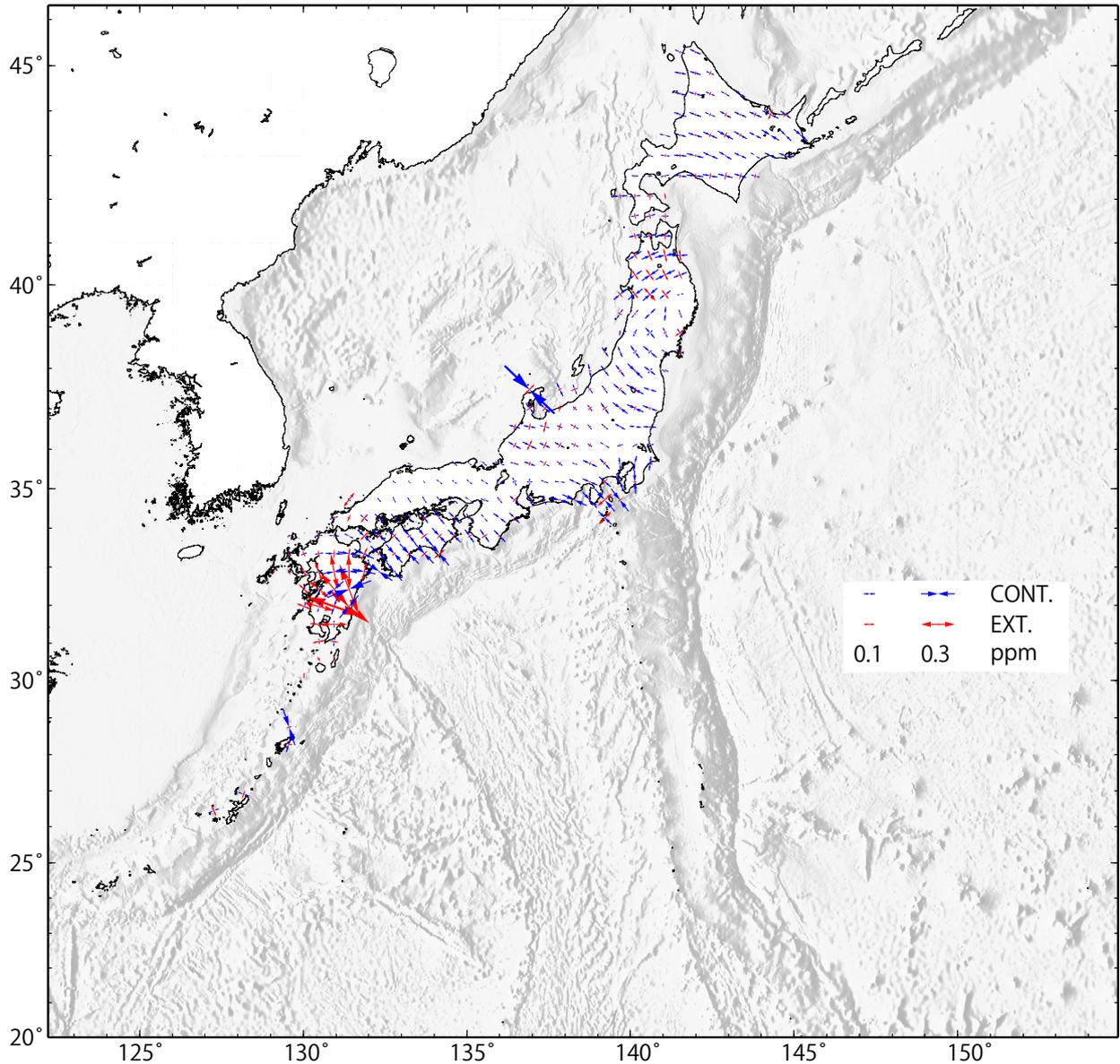
第 7 図 GNSS 連続観測データから求めた 2024 年 10 月～2025 年 10 月の水平変動

Fig. 7 Horizontal displacements at GNSS sites during October 2024 – October 2025. (☆ , Reference station is Fukue)

GNSS 連続観測から推定した日本列島のひずみ変化

- ・平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。
- ・令和 6 年能登半島地震に伴う地殻変動の影響によるひずみが見られる。
- ・2024 年 8 月 8 日の日向灘の地震に伴う地殻変動の影響によるひずみが見られる。
- ・山口県北部の地震活動に伴う地殻変動の影響によるひずみが見られる。
- ・トカラ列島近海の地震活動に伴う地殻変動の影響によるひずみが見られる。

基準期間：2024-09-27 / 2024-10-11 [F5：最終解]
 比較期間：2025-09-27 / 2025-10-11 [F5：最終解]

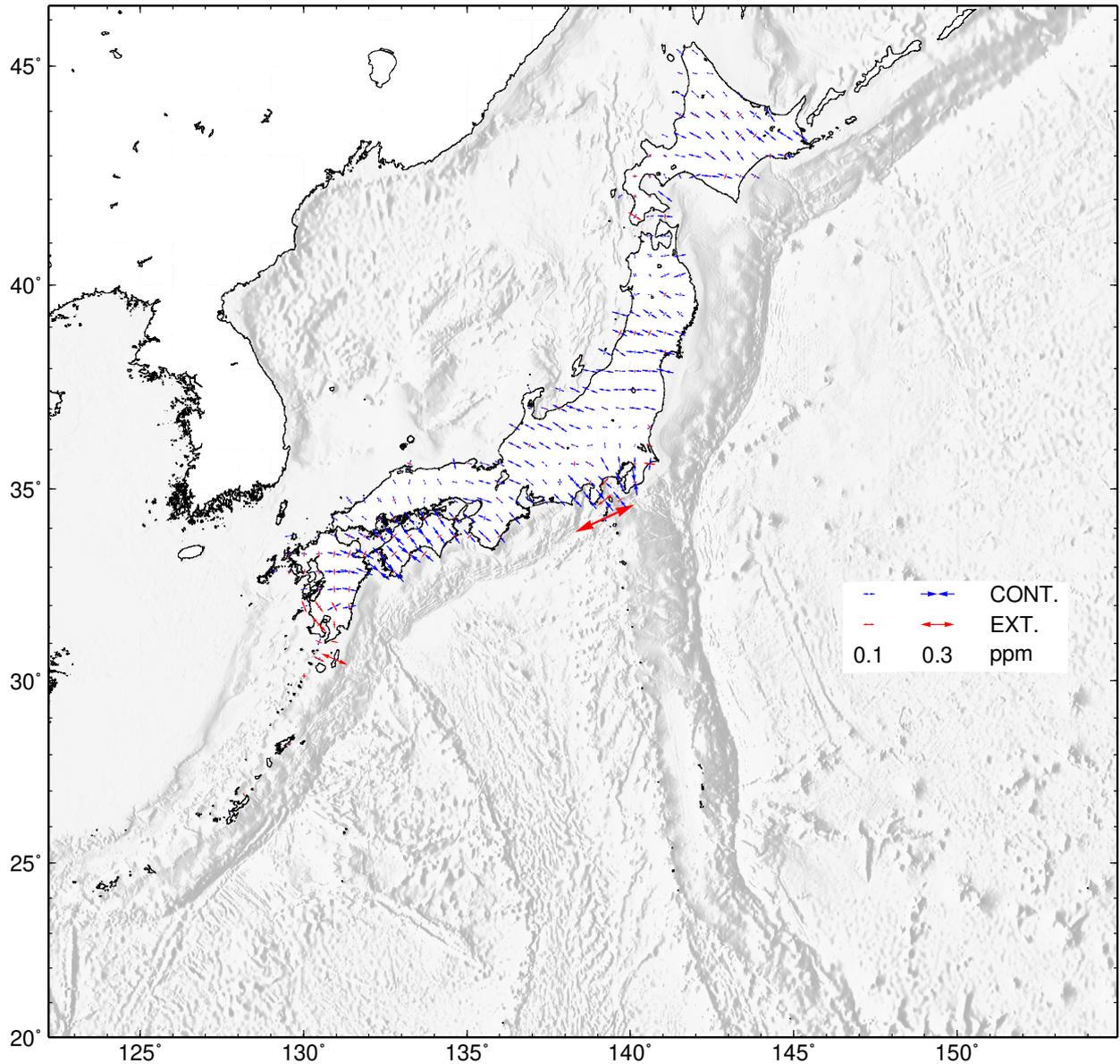


- ・GNSS 連続観測による変位ベクトルからひずみ変化図を作成した。
- ・海底地形データは ETOPO1 (Amante, C.&B.W.Eakins, 2009) を使用した。

第 8 図 GNSS 連続観測データから推定した日本列島の水平歪（2024 年 10 月～2025 年 10 月）
 Fig. 8 Horizontal strain in Japan derived from continuous GNSS measurements during October 2024 – October 2025.

GNSS 連続観測から推定した日本列島のひずみ変化 定常時・比較用

基準期間：1998-09-27 / 1998-10-11 [F 5：最終解]
比較期間：1999-09-27 / 1999-10-11 [F 5：最終解]

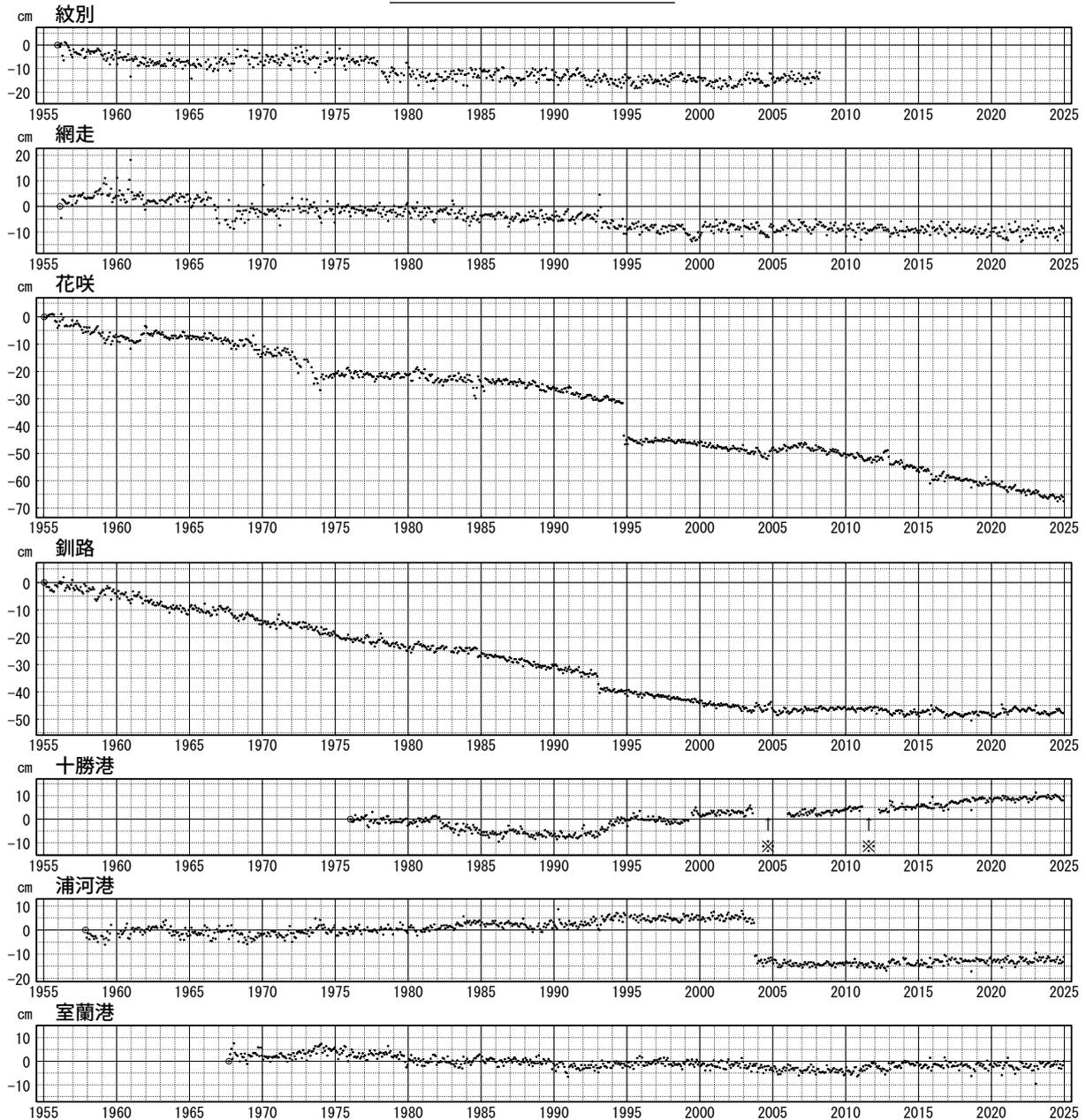


- ・ GNSS 連続観測による変位ベクトルからひずみ変化図を作成した。
- ・ 上図の期間は定常時の変動を示す（伊豆諸島周辺を除く）。
- ・ 海底地形データは ETOPO1（Amante, C.&B.W.Eakins, 2009）を使用した。

第 9 図 GNSS 連続観測データから推定した日本列島の水平歪【定常時・比較用】
Fig. 9 Typical horizontal strain in Japan derived from continuous GNSS measurements.

加藤 & 津村 (1979) の解析方法による，各験潮場の上下変動 (1)

特段の傾向の変化は見られない。



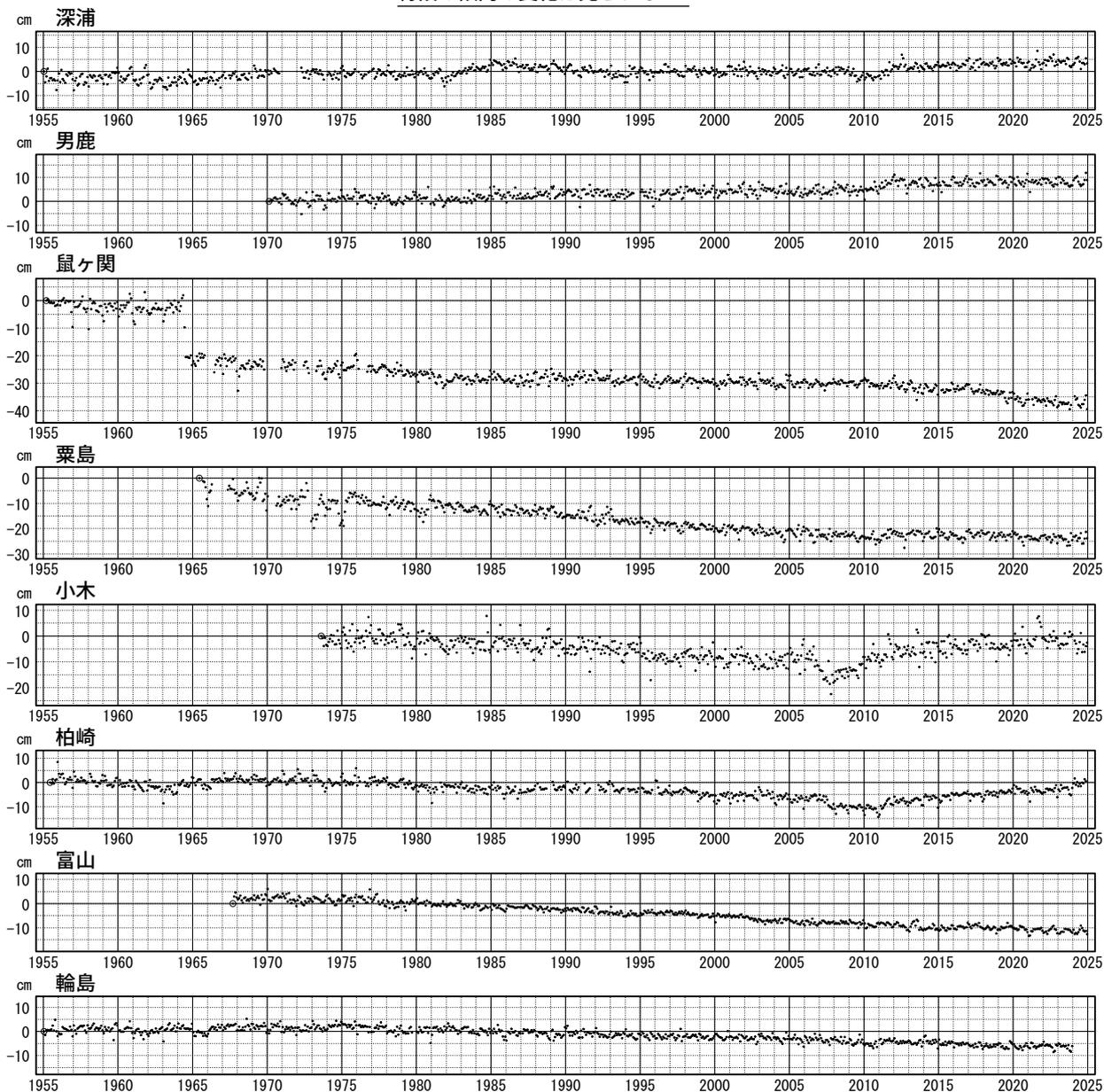
- ※ 機器の保守等により欠測。期間前後の値に連続性はない。
- 2008 年 3 月 紋別験潮所の業務停止。
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による。
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (⊙ 印) の値を 0cm としている。
- 最新データ 2024 年 12 月。

第 10 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 10 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村 (1979) の解析方法による，各験潮場の上下変動 (3)

特段の傾向の変化は見られない。



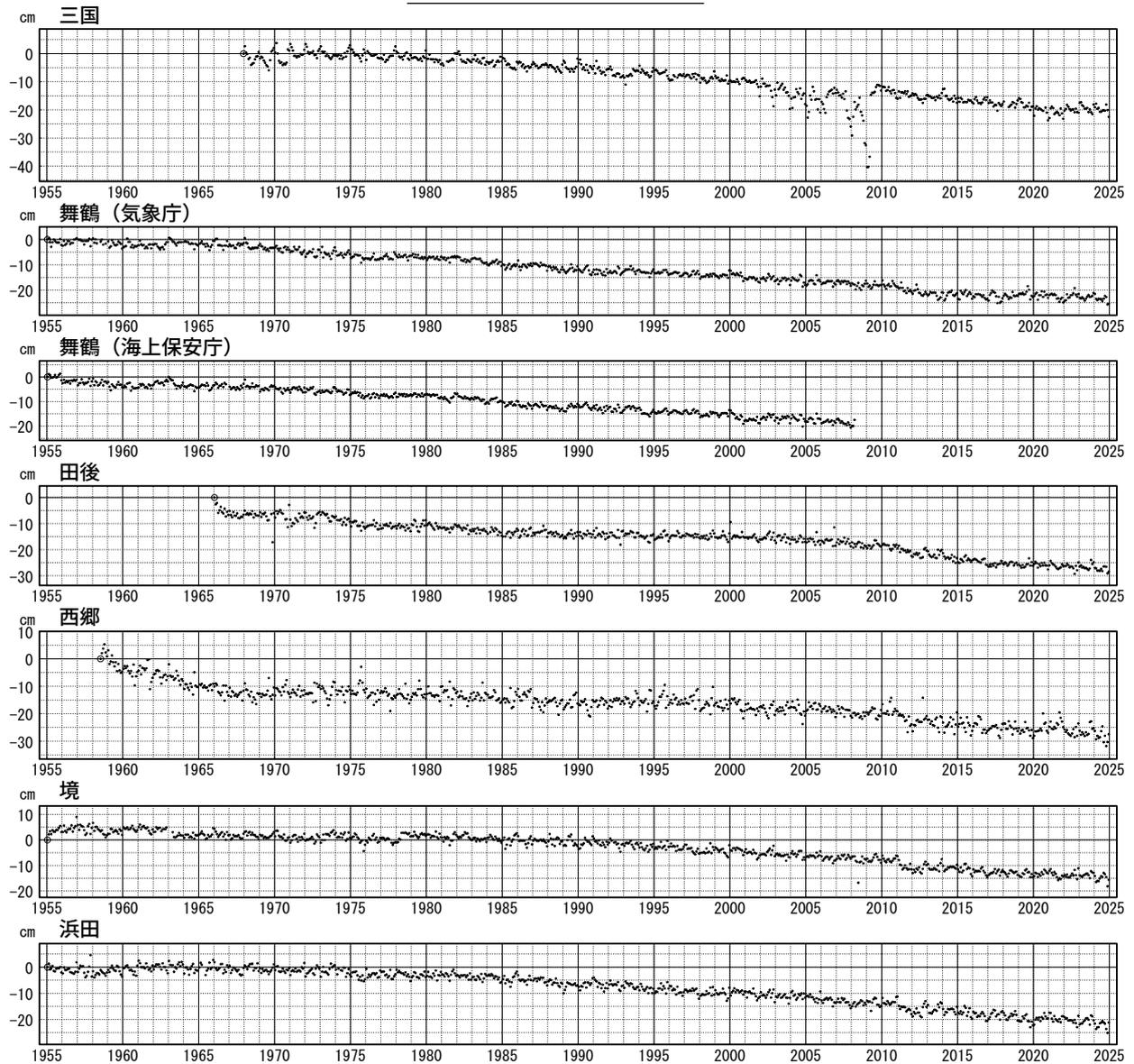
- 2024 年 3 月 輪島験潮所の業務停止。
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による。
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (⊙印) の値を 0cm としている。
- 最新データ 2024 年 12 月。

第 12 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 12 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村 (1979) の解析方法による, 各験潮場の上下変動 (4)

特段の傾向の変化は見られない。



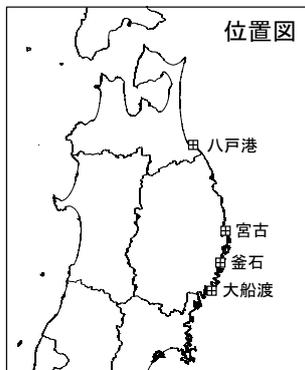
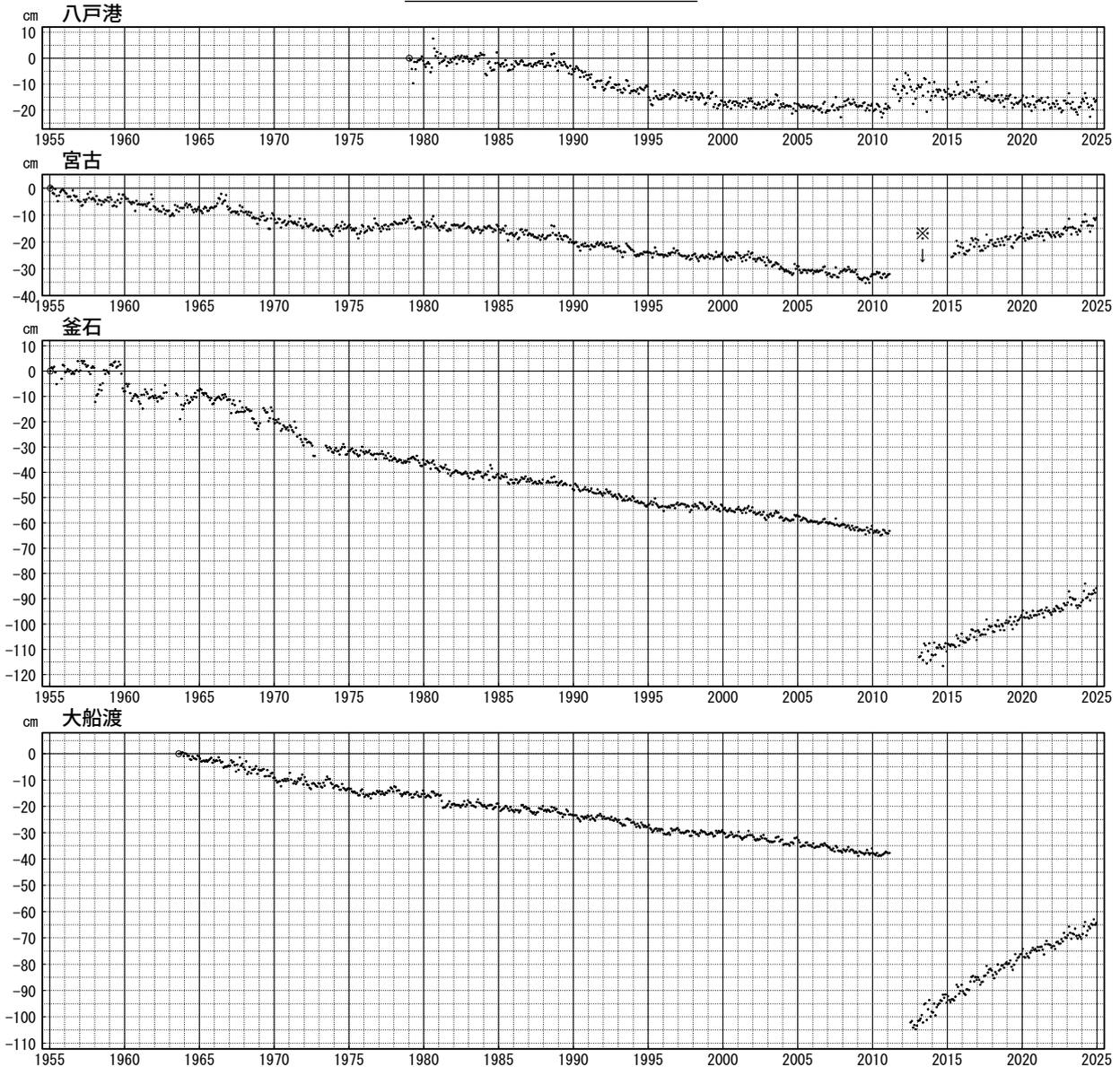
- 2008 年 3 月 舞鶴 (海上保安庁) 験潮所の業務停止。
- 2011 年 3 月以降の小さな変化は, 同じ海域に属する北日本の観測点の隆起が解析において影響した見かけのものと考えられる。
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による。
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (○印) の値を 0cm としている。
- 最新データ 2024 年 12 月。

第 13 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 13 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村 (1979) の解析方法による, 各験潮場の上下変動 (5)

特段の傾向の変化は見られない。



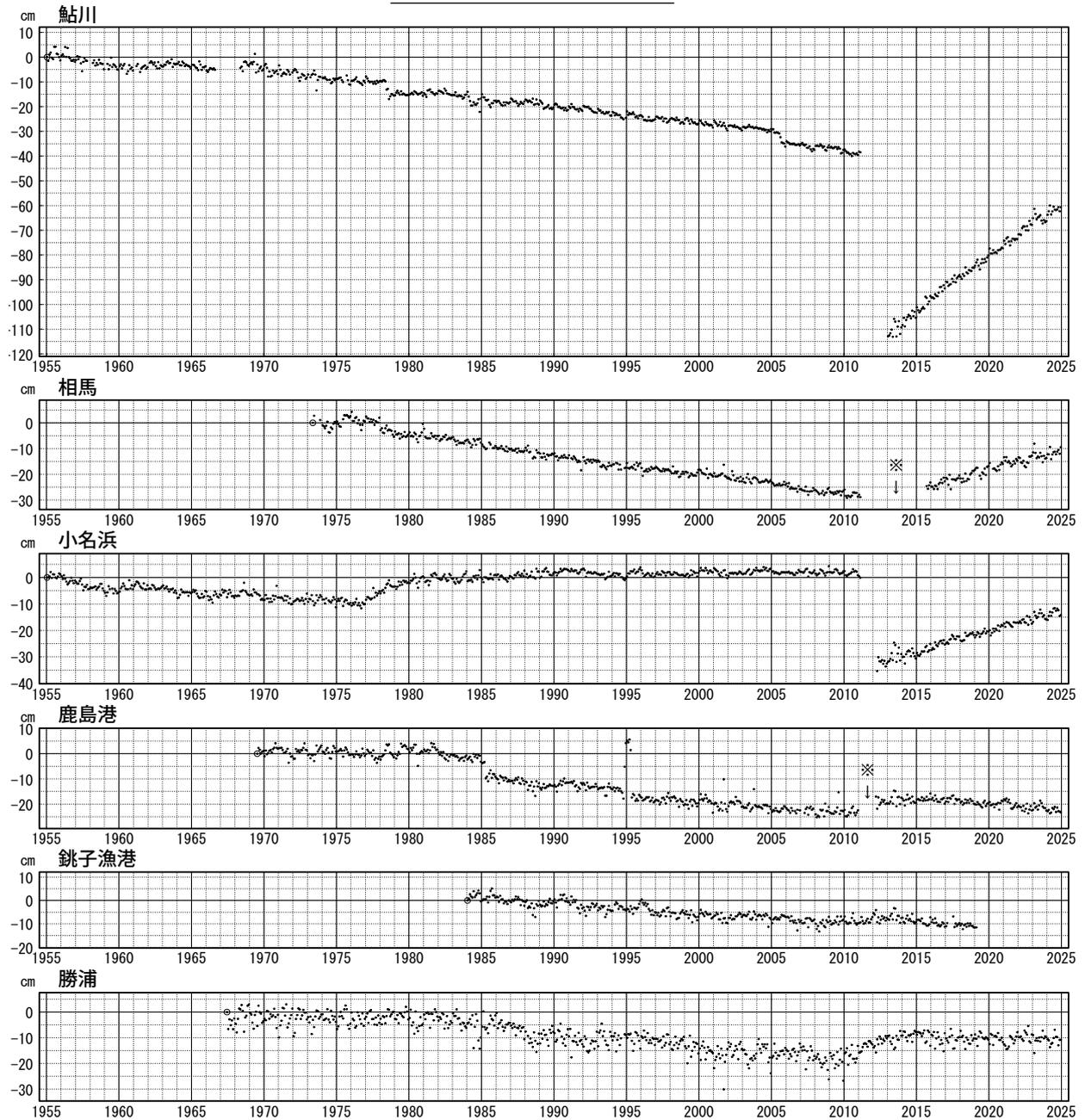
- 2011 年 3 月 八戸検潮所の業務停止のため八戸港検潮所に入れ替え.
- ※ 機器の保守等により欠測. 期間前後の値に連続性はない.
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による.
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (○印) の値を 0cm としている.
- 最新データ 2024 年 12 月.

第 14 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 14 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村（1979）の解析方法による，各験潮場の上下変動（6）

特段の傾向の変化は見られない。



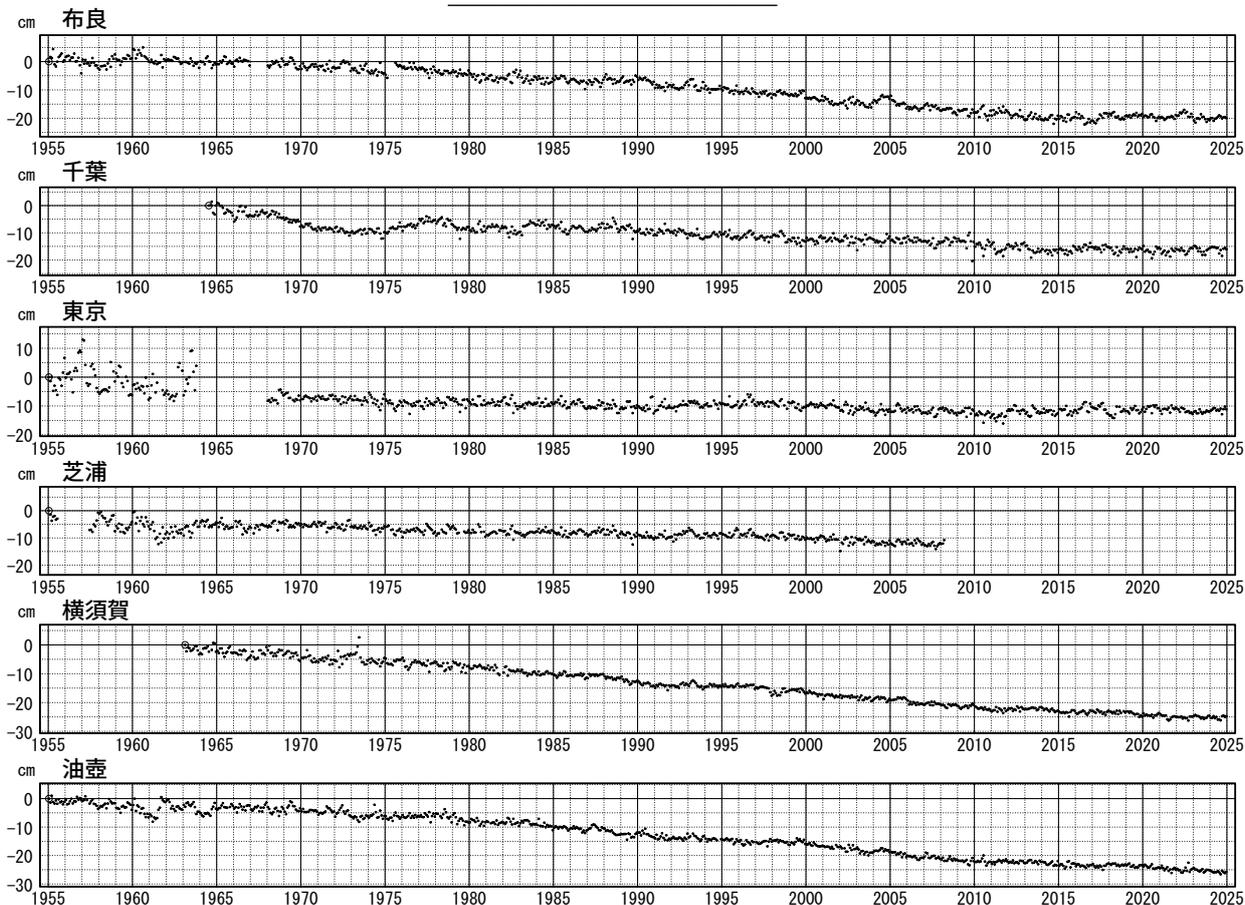
- ※ 機器の保守等により欠測．期間前後の値に連続性はない．
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による．
- グラフの縦軸は最初のプロット点（◎印）の値を 0cm としている．
- 最新データ 2024 年 12 月．

第 15 図 加藤・津村（1979）の方法による験潮場の上下変動

Fig. 15 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤 & 津村 (1979) の解析方法による, 各験潮場の上下変動 (7)

特段の傾向の変化は見られない。



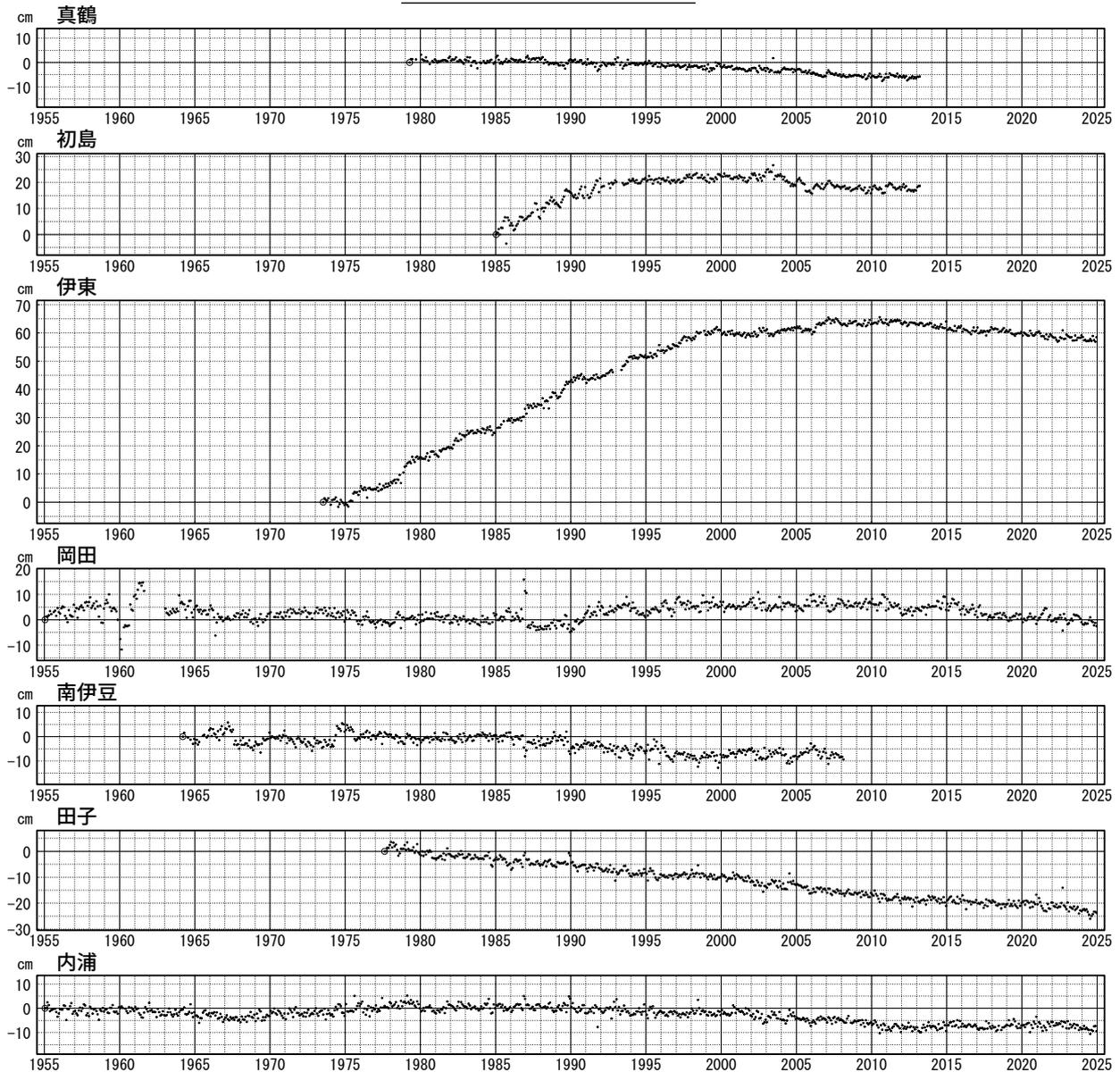
- 2008 年 3 月 芝浦験潮所の業務停止.
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による.
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (◎印) の値を 0cm としている.
- 最新データ 2024 年 12 月.

第 16 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 16 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤 & 津村 (1979) の解析方法による、各験潮場の上下変動 (8)

特段の傾向の変化は見られない。



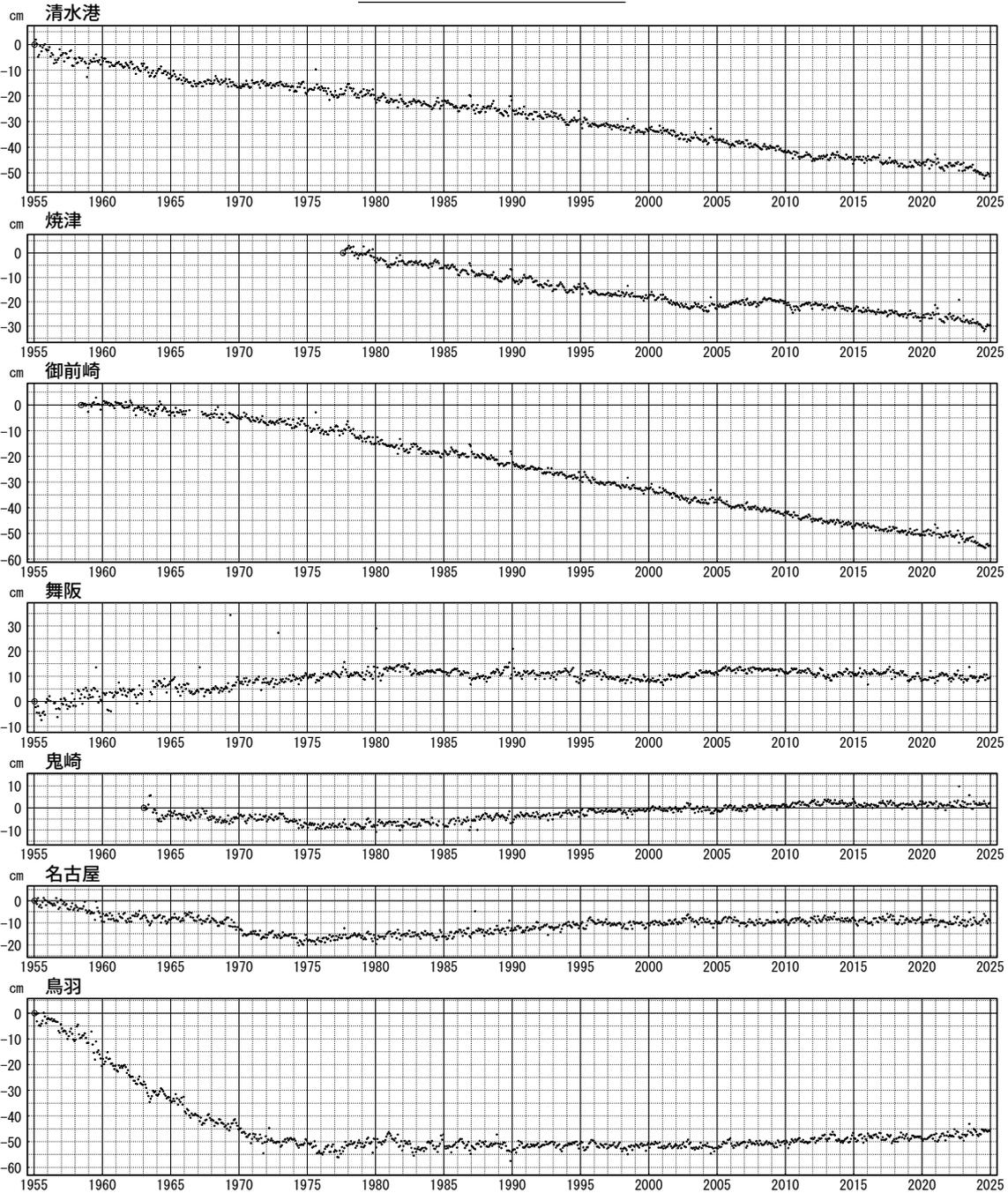
- 2008 年 3 月 南伊豆験潮所の業務停止。
- 2013 年 3 月 真鶴, 初島験潮場の業務停止。
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による。
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (⊙ 印) の値を 0cm としている。
- 最新データ 2024 年 12 月。

第 17 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 17 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村 (1979) の解析方法による，各験潮場の上下変動 (9)

特段の傾向の変化は見られない。



- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による。
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (⊙印) の値を 0cm としている。
- 最新データ 2024 年 12 月。

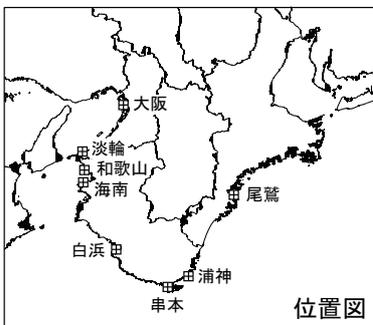
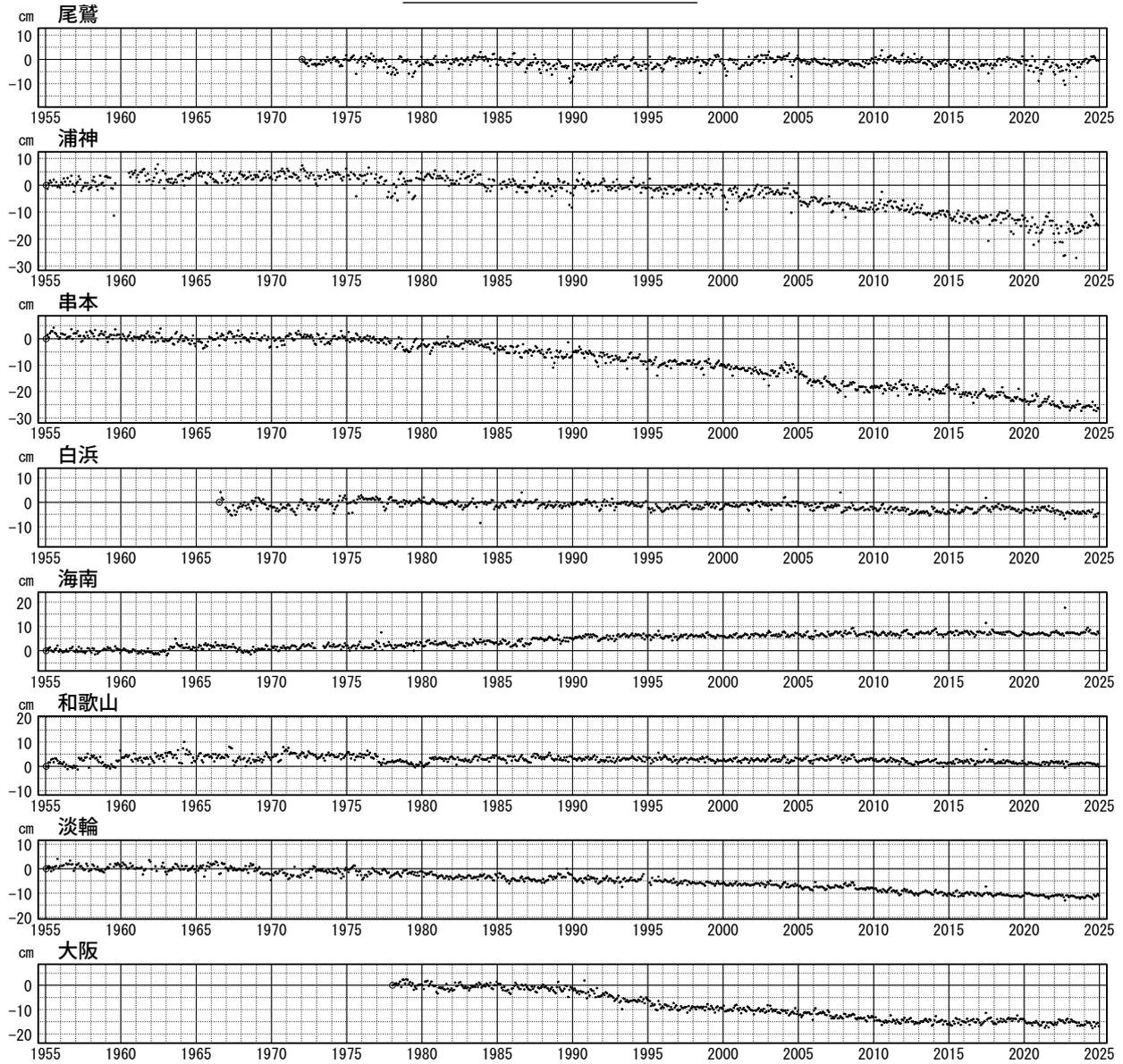


第 18 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 18 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村 (1979) の解析方法による, 各験潮場の上下変動 (10)

特段の傾向の変化は見られない.



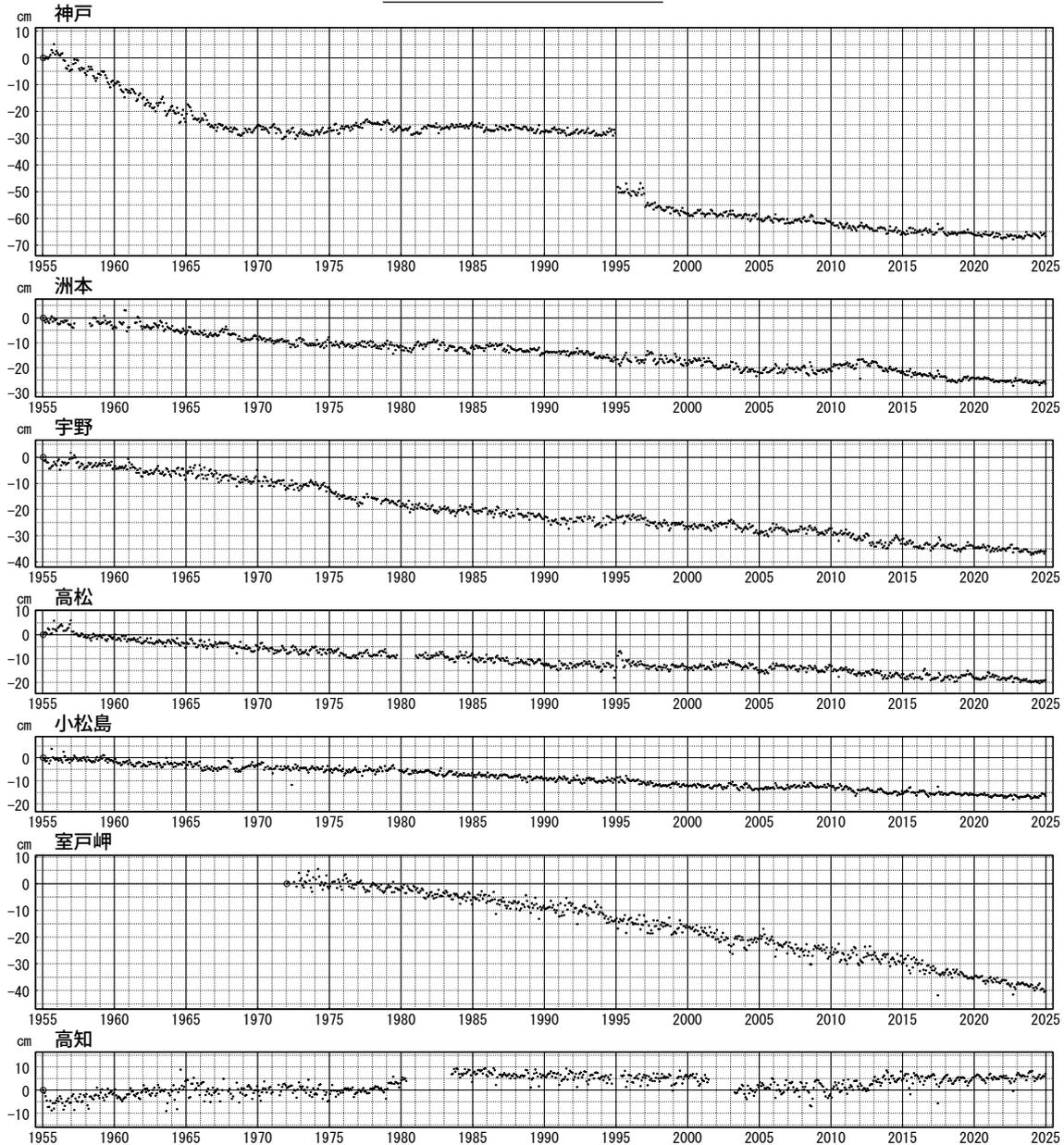
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による.
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (⊙印) の値を 0cm としている.
- 最新データ 2024 年 12 月.

第 19 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 19 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤 & 津村 (1979) の解析方法による, 各験潮場の上下変動 (11)

特段の傾向の変化は見られない.



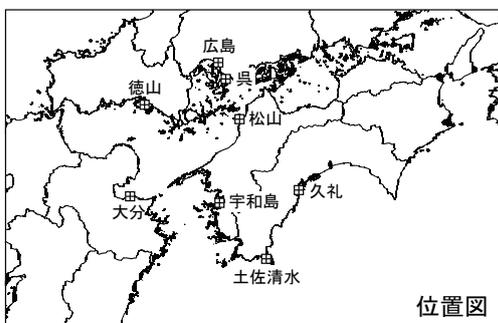
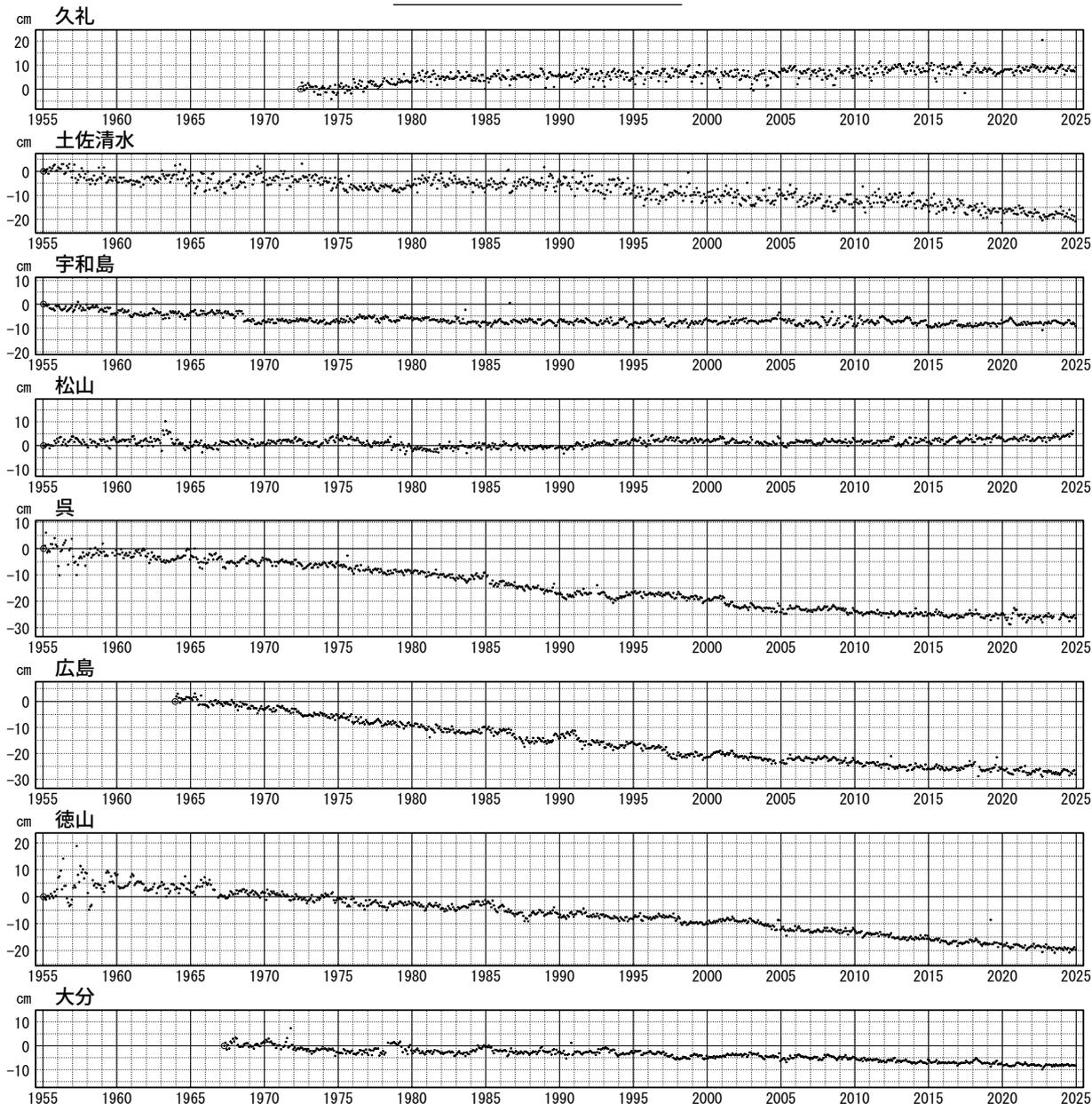
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による.
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (⊙印) の値を 0cm としている.
- 最新データ 2024 年 12 月.



第 20 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動
 Fig. 20 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村 (1979) の解析方法による、各験潮場の上下変動 (12)

特段の傾向の変化は見られない。



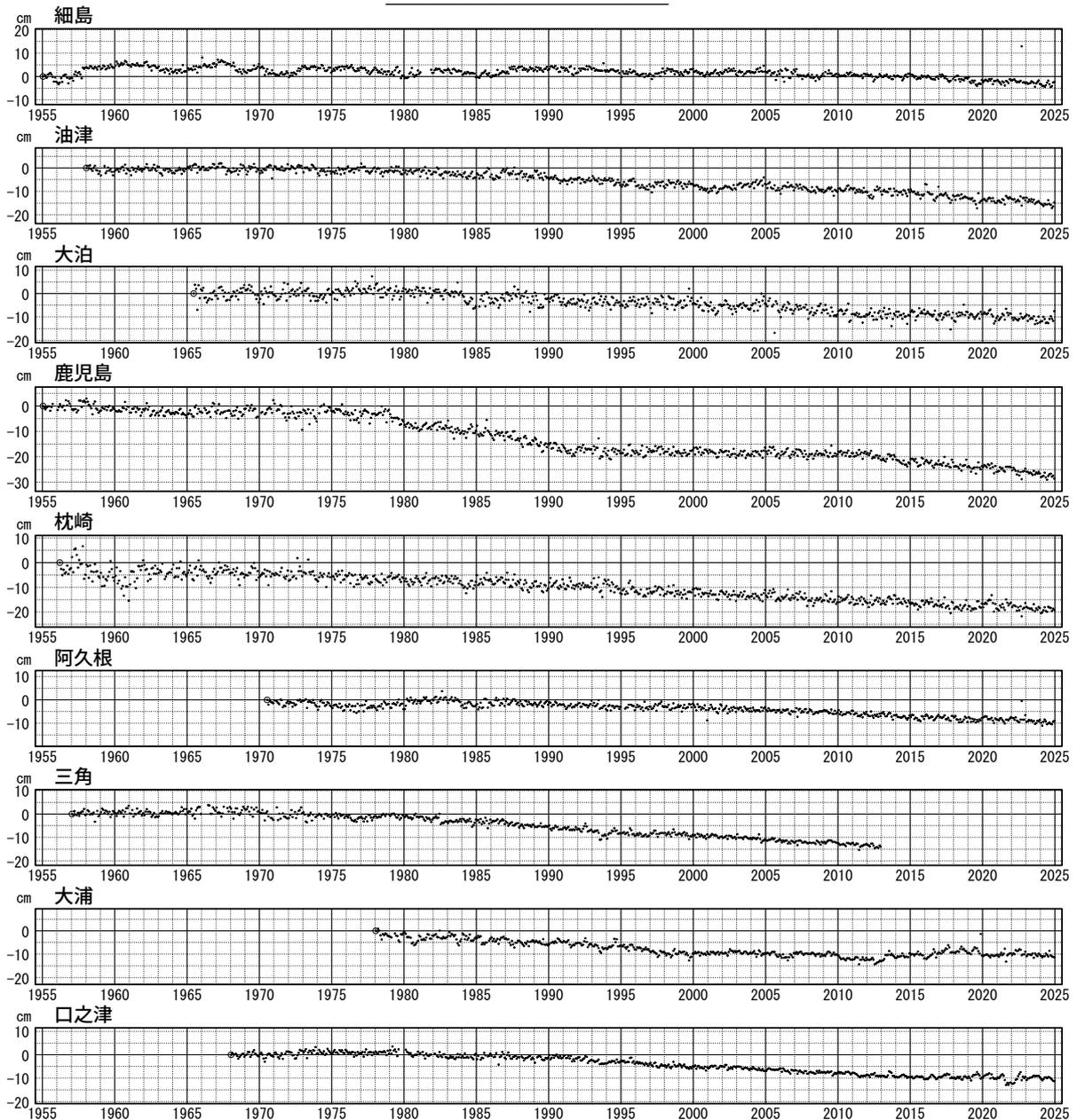
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による。
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (◎印) の値を 0cm としている。
- 最新データ 2024 年 12 月。

第 21 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

Fig. 21 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤 & 津村 (1979) の解析方法による, 各験潮場の上下変動 (13)

特段の傾向の変化は見られない。



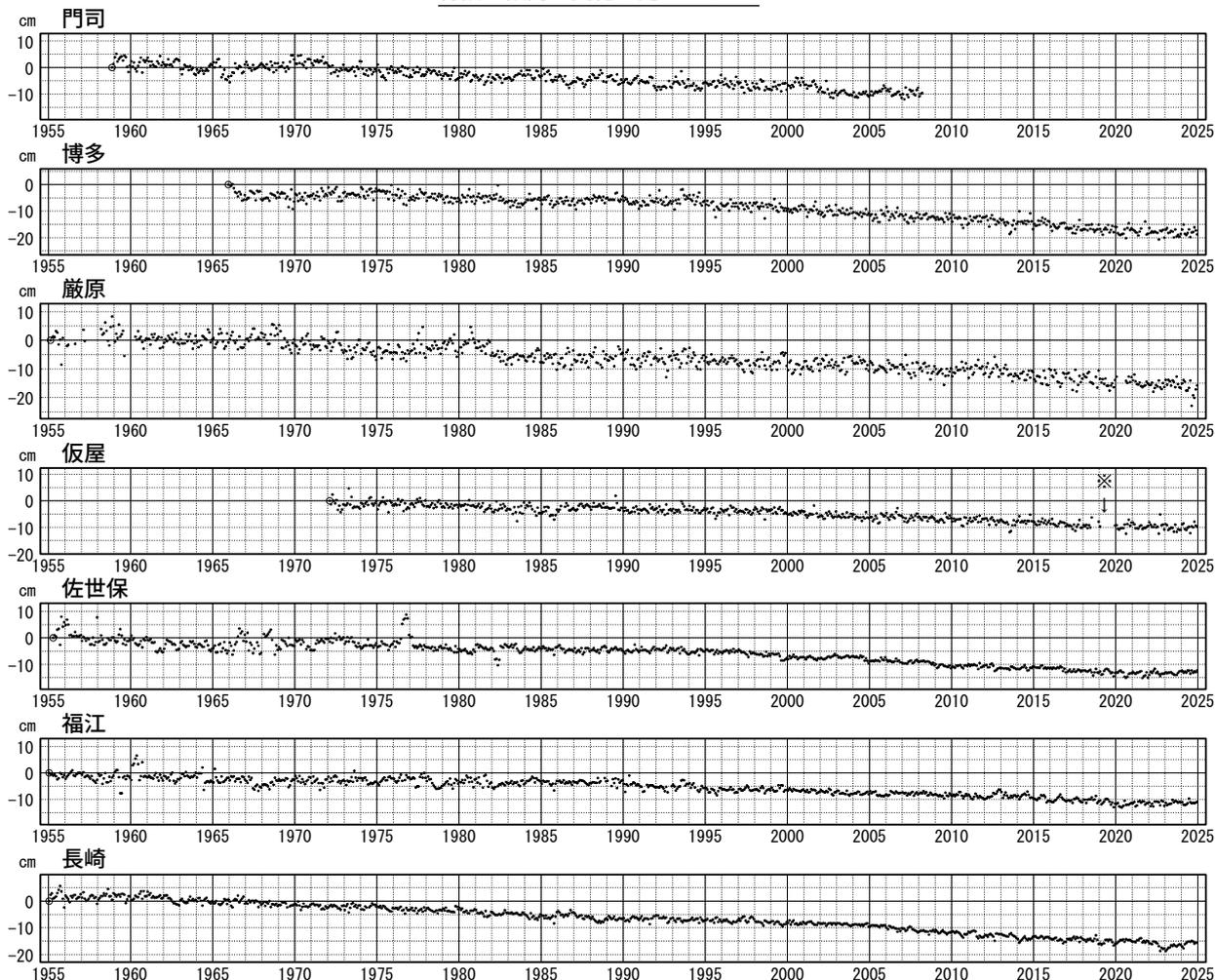
- 2012 年 12 月 三角験潮所の業務停止。
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による。
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (○印) の値を 0cm としている。
- 最新データ 2024 年 12 月。

第 22 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動

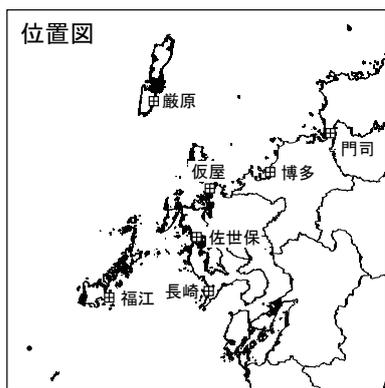
Fig. 22 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).

加藤&津村 (1979) の解析方法による, 各験潮場の上下変動 (14)

特段の傾向の変化は見られない。



- 2008 年 3 月 門司験潮所の業務停止.
- ※ 機器の保守等により欠測.
- 験潮場名は海岸昇降検知センターの登録名による.
- グラフの縦軸は最初のプロット点 (○ 印) の値を 0cm としている.
- 最新データ 2024 年 12 月.



第 23 図 加藤・津村 (1979) の方法による験潮場の上下変動
 Fig. 23 Vertical movements of the tide stations derived with the method by Kato and Tsumura (1979).